

グループ1

委員：池田敏泰（発表者）、井上聡夫、北浦由香（進行役）、中川徹、船本知子、南垣内貞史、石田美智男
事務局員：新井、南田、安宅

その他

- NPO ボランティアの支援・強化
- トップランナー
- 世界に発信できる奈良市としての意気込みがあるのか
- 全体統合調整

歴史・景観

- 古都の景観保存
- 歴史的景観の保全（建築物の高度制限）
- 都市環境 緑化 電柱の地下化
- 都市景観にうるおい 街路樹の整備
- 観光の活性化
- 平城宮跡の活用

歴史都市防災

- 安全安心のまちづくり 防災・防犯
- 世界遺産とそのバッファゾーン 都市防災の強化

自然環境

- 里山保全・緑保全
- ため池の保全（緑と水辺）（野生動植物の保護）
- 森林の創生（第2の奈良公園を作る）
- 開発（市街区域）（除 調整区域）
- 水環境

温暖化

- 省エネ・自然エネルギー 取り組み強化
- CO₂ 排出抑制策
- 地球温暖化
- 再生可能（自然）エネルギーの有効利用
- 地産地消の推進

交通対策

- 環境に優しい交通体系
- 高齢者の移動手段
- 交通 歩いて・自転車で安心・安全して歩ける走れるまち
- 公共交通の充実 コミュニティバス マイカー規制
- 市街路 歩道・自転車道の改善
- カーシェアリング・自転車シェアリング
- 公用車の電気自動車の取り入れ
- 自転車道・歩道の整備
- 奈良の自動車利用
- 公共交通のサービス向上
- 安全な交通の為の整備

教育・啓蒙

- 小さいときから自然と学ぶ 環境教育
- 自治会 etc 地域での情宣展開
- 市 地域社会での生かし方 自治会の生かし方
- 小・中・（高）教育
- 子供達への地球温暖化を知らせる教育
- 奈良の自然 環境対策に対する地域の生かし方
- 参加と連携を図るまち

生活環境

- 奈良のごみ（家庭）
- 奈良のごみ（中小事業者）
- 排出抑制
- 騒音対策
- ゴミ・リサイクル・不法投棄対策
- 家庭のリサイクルごみ
- 生活排水・工場排水

グループ2

委員：北端辰昭、河野元昭、瀬林傳（進行・発表）、日月英昭、鶴保謙四郎、中村真喜子、黒飛啓
事務局員：油谷、坂崎

環境教育の推進

- 次世代への環境教育
- 環境教育 循環型社会をイメージさせる具体的な取り組みを学校教育の中で行う
- 市民参加の町づくり
- 産業と環境との相克関係
- 市民（特に中高生）に対する環境教育

生活環境の推進

- 環境アセスメント（大規模店舗立地も含む）
- 実現性のある提言 VISION ではない！
- 環境基準項目 { 大気
水
音 }
- 奈良市の CO₂ 削減目標を決め、具体策を促進しよう
- 温暖化施策と経済問題
- 奈良市のどの分野の CO₂ を削減できるのか

歴史文化と自然を生かしたまちづくり

- 森林資源 その役割と有効活用の事例紹介
- 庭木の樹種の限定
- 奈良市のパワースポット創り
- 環境首都をつくろう。奈良市の特性を活かして
- 歴史文化と環境の共生
- 環境学習（教育）平城宮跡の活用
- 世代を超えて住み続けられる街づくり
- 奈良東山地区のグリーンを生かす⇒CO₂ 排出取引に使えるか？（エコビジネス）
- 音環境の保全
- 安全・快適・健康な社会環境（都市環境・生活環境）
- できるだけ小さい範囲で食・住・エネルギー・ゴミなどを供給できるシステム作り
- 自転車道の整備
- 環境保全 河川公園の整備 木津川市にくらべ劣っている

エネルギーの有効活用

- エネルギーの効率化の促進
- 省エネで快適な（都市生活）住まい方
- 高効率な機器開発の促進と利用提案
- 燃料電池の開発商品化
- 再生可能なクリーンエネルギー
- エネルギーと環境との両論性
- 廃棄物の適正処理
- 資源の循環利用
- 市民だよりやパンフレットの数量の適正化
- 家庭ゴミの減量

グループ3

委員：岡本胤継（発表者）、小松弘子、島浩二、橋本光男（進行役）、矢藤加寿子、岡野恵子
事務局員：桐山、村井、吉留

その他

- 奈良市民への広報の大切さ
- 他の国や他の都市にない奈良独自の環境基本計画を
- 政策（補助金とか）エコポイント等
- 環境に関する産業の育成
- 地域団体の環境への取り組み支援
- 市民運動・NPO活動の盛り上がり支援

都市環境

- 環境を核としたまちづくり
- 自転車の乗れる街づくり・道づくり
- 緑道などの整備 サイクリングロード

自然

- 森林生態系保全・復元
- 遊休地などの効率的な利用
- 水辺環境保全・復元
- 生物多様性保全
- 生態系を考えた生物（植物等）守り育てる（生物多様性）
- こどもエコクラブ活性化
- 景観保全＜歴史・自然＞ -----

歴史

- 奈良市の大切な文化財を守る（らくがきしないとか・・・）
- 古都の文化財を護る
- 平城京のまちなみ保全・復元
- 歴史・文化財を守るための取組みとしての環境測定や分析（ケミカル）
- 歴史環境 奈良の個性を護る体制づくり
- 交通問題 文化財・世界遺産周辺への車乗り入れを検討
- 大気環境 文化財に影響

エネルギー

- 再生可能なエネルギーBDFの推進
- バイオマス事業の設立
- バイオマス資源の活用
- クリーンエネルギー使用（利用）の推進
- 交通（公共）のクリーン&エコ化
- 大型商業施設の駐車場における電気スタンドの普及促進
- 無駄な電気は消す。エネルギーの無駄をなくす。

○市の保有する自動車を全て電気自動車にする

環境教育

- 環境学習
- 環境学習・指導者育成
- 小学生によるその校区の環境調査と、実施できる施策の立案
- 学校の授業で地球温暖化の事をもっと教える
- 大事な地球を子供に残すのだから、学習・教育の充実
- 環境自然保護教育
- 食農教育の推進

生活環境・3R

- スーパーのレジ袋の有料化
- 不要品を人にあげる情報提供する リユース
- まずは家庭から ゴミ リサイクル
- 買物は出来るだけ市内でする 地産地消
- グリーン購入
- 市民が環境に配慮した商品を買いたくなるような・・・なにか
- 環境配慮型の商品がすぐわかるようにする
- 無駄な包装はしない。ゴミをへらす。マイバッグを持つ。
- 米のとぎ汁などを流さない。庭の草にあげる。
- 健康に暮らせる環境 アレルギー・花粉症
- 都市環境 高齢者・独居対応
- 建物・住宅のエコ化 建物と設備
- 廃棄物処理

○3R バイオ燃料 天ぷら油の再利用。循環型社会の構築。

グループ4

委員：梶野博子、清水順子（進行役）、田川嘉隆（発表者）、三宅明代、植本茂、栗岡理子、村木正義
事務局員：柴田、松本

環境教育

- 環境教育のしくみづくり
- 環境保全のため、人材育成
- グリーンコンシューマー
- 環境教育のIT化を急げ

コンパクトシティ

- 公共交通システム
- 交通

地球温暖化対策

- 低エネルギー社会
- 再生可能エネルギー
- エコ運転
- ハイブリッド車、EVの普及
- 効率的なエネルギー社会
- 自然エネルギー利用
- 環境家計簿の啓発

- 家庭における身近で効果的な省CO₂対策
- 省エネ推進。省エネ・省CO₂のための取り組み
- 民生業務用における省CO₂対策
- 地球環境は予想より急激に進んでいる。 ○温暖化の目標……1990年比で比較すべき。
2020 25%↓ (複雑すぎる)(単純に)
2030 40%↓ ○気候ターゲット2℃がいつか……
2050 60~80%↓ (2015年)450ppm必達

まちづくり

- 安全・安心
- 古都平城京の保存と活用
- 歴史環境保護
- 世界文化遺産
- 生活環境（都市と田舎との連携）
- 歩いて暮らせるまち
- アメニティー（文化財保全ではなく）
(歴史と文化と人と)
- 世界との友好も大事だが、京都市、東京都と連携

自然環境

- 自然保護
- 地元産の食材
- 生物多様性
- 農地保全、農業の活性化
- 食料の地産地消を強化、白濁化。
- 地球環境保全
- 生物多様性に配慮したまちづくり
- 子供達へ美しい環境を残す
- 緑地保全、森林保全
- 県内木材の利用
- 自然環境保全（循環として）（アメニティー）

循環型社会

- ごみ
- 「公害」→環境ホルモン
- クリーン奈良
- 足元からの（日々の）エコロジー
- 地域循環は、生ゴミからエネルギー回収
- 地域分散の循環型社会構築
- 雨水利用
- 生活環境（大気汚染・生活排水）
- 野焼き
- 3R推進
- 河川浄化